

[to不定詞] とは

to不定詞とは [to+動詞の原形] 例えば、"to go" "to play" "to watch" などの様に表わします。
 そもそもなぜ不定詞と呼ばれるかというと、[to+動詞(原形)]は動詞の役割はしませんが動詞以外の
 様々な、定めのない(不定)の役割を持つ言葉なので不定詞と呼ぶのだと思います。
 様々な、定めのない(不定)の役割 - と言いましたが大きく分類すると、下記のように [名詞的用法]、
 [形容詞的用法]、[副詞適用法] の3つがあります。

to不定詞の名詞的用法

例1) To learn English is important for your future. 英語を学ぶことはあなたの将来にとって重要なことです。

例2) The objective of the meeting today is to fix the new product lineups.

本日の会議の目的は新製品のラインナップを決める事です。

このようにto不定詞(to+動詞)を「～すること」のような名詞的な意味で文章の主語や目的語に
 使用します。例1)は不定詞の”to learn”が導くかたまりの部分(青字の部分) To learn English
 「英語を学ぶこと」を主語として、例2)では不定詞の”to fix”が導くかたまりの部分(青字の部分)
to fix the new product lineups 「新製品のラインナップを決める事」を目的語として使用した
 文です。to不定詞を名詞のように使っている事からto不定詞の名詞的用法と言います。

以下の例文もご参照ください。

例3) It is important to exercise regularly. 定期的な運動は重要なことです。

(文頭の “It” は ”to exercise regularly” の仮主語です。ライブラリーに [仮主語の”It”]
 の使い方に関する参考資料もありますので必要な方はご参照ください)

例4) I want to be a pilot. 私はパイロットになりたい。

例5) My goal is to work in many overseas countries. 私の目標は多くの海外の国々で働く事です。

to不定詞の形容詞的用法

例1) He is a great person to manage multi-tasks perfectly. 彼は複数の職務を完璧にこなす凄い人です。

例2) Would you like something to drink? 何か飲み物が要りますか? (直訳: 飲む何かがありますか?)

このように、to不定詞(to+動詞)が直前の名詞を後ろから説明(形容)するのが to不定詞の形容詞的
 用法です。形容詞は名詞を説明する言葉なので、このように名詞を説明するto不定詞をto不定詞
 の形容詞的用法と呼びます。

例1)では不定詞の”to manage”が導くかたまりの部分(青字の部分) to manage multi-tasks
 perfectly 「複数の職務を完璧にこなす」が、直前の名詞 ”a great person” 「凄い人」を後ろか
 ら説明(形容)しています。

例2)では不定詞の”to drink” 「飲む～」が、直前の名詞 ”something” 「何か」を後ろから説明
 (形容)して “something to drink” 「飲む何か」という意味のかたまりを形成しています。

以下の例文もご参照ください。

例3) I like baseball to watch. 私は野球観戦が好きです。(直訳: 私は観る野球が好きです。)

例4) Is there somebody to help with my work today? 今日私の仕事を手伝ってくれる人はいますか。

to不定詞の副詞的用法

例1) He studies English hard to learn at an overseas university.

彼は海外の大学で学ぶために一生懸命英語を学んでいる。

例2) I am very happy to hear your opinions. あなたの意見が聞けてとても嬉しいです。

例3) My son grew up to become a pro baseball player. 息子は成長してプロ野球選手になりました。

このように、to不定詞(to+動詞)は「～するために/～して/結果～する」のような比較的多様な、副詞的な意味で使用されます。

例1)では不定詞の”to learn”が導くまとまりの部分(青字の部分)「海外の大学で学ぶために」は、その直前の”He studies English hard”「彼は一生懸命英語を勉強しています」の目的を表しています。

例2)では不定詞の”to hear”が導くまとまりの部分(青字の部分)「あなたの意見が聞けて」がその直前の文章 ”I am very happy” 「私はとても嬉しい/嬉しく思う」の、何に対してそう思うかを説明しています。

例3)では不定詞の”to become”が導くまとまりの部分(青字の部分)「プロ野球選手になる」がその直前の文章 ”My son grew up” 「私の息子は育った」の、結果を表しています。

上記の3つの例文1)～3)は副詞的用法の代表的な形ですが、副詞的用法の場合は、to不定詞がどういう意味で使われているか、その文章全体の内容や前後の文章も含めた文脈等で判断する必要があります。

因みに副詞とは名詞以外(動詞と形容詞)を説明する言葉ですので、単に名詞的に使ったり形容詞的に使う時よりも比較的色彩豊かな意味を持つのは領けますね。

<前置詞の”to”>

最後に補足ですが・・・”to”には後ろに名詞を伴う前置詞の役割もありましたね。

その時は、”to ～(名詞)”は「～に/～に向かって」の意味です。

例えば・・・

例1) I will go to Hawaii next month. 私は来月ハワイに行きます。

例2) I gave my bicycle to my younger brother. 私は自分の自転車を弟にあげました。

以上です